

方面委員制度から100年を迎えて



熊本市民生委員
児童委員協議会

会長 野口 勲

くまもと市民児協だより

第9号

平成30年4月発行
発行者 熊本市民生委員会
児童委員会
会長 野口 勲

〒860-0004
熊本中央区新町2丁目4-27
熊本市社会福祉協議会内
☎096-288-2748



う社会から
支えよい地域
住み地

民生委員制度創設100周年記念 熊本県・熊本市民生委員児童委員大会

災害に備えた福祉のまちづくりを進めるために 100年の歴史を踏まえ、これからの民生委員・児童委員の使命と役割を考える

「民生委員の父」と仰がれる林市蔵氏の生誕の地として、緑の深い本県においては「方面委員制度」から一〇〇周年を迎える平成三十年に熊本県・熊本市大会を開催します。県内で活動する民生委員・児童委員が一堂に会し、これまでの一〇〇年の歴史を振り返り、これからも委員活動の一層の充実、発展に向け、思いを新たにする機会といたします。

日 時	平成三十年五月十五日（火）午前九時受付開始
主 催	熊本県立劇場
参 加 者	熊本県民児協・熊本市民児協 一八〇〇名程度
日 程	オープニングアトラクション
開会宣言	「災害に備えた福祉のまちづくりを進めるために」
主 催 者 挨拶・来賓挨拶	シンポジウム 講師 関西学院大学 教授 藤井博志氏
来 賓 紹 介	「これからの中生委員・児童委員の使命と役割を考える」 講師 関西学院大学 教授 藤井博志氏
基 調 講 演	シンポジスト（四名）
閉 会 の こ と ば	・シンポジスト（四名）

*林市蔵氏の墓参り	日 時 平成三十年五月十二日（土）
日 時	平成三十年五月十二日（土）
参 加 者	県民児協役員・市民児協役員
*パレード開催	・シンポジウム 講師 関西学院大学 教授 藤井博志氏

昨年理事会においては、一年間を通じて5項目を協議してまいりました。第1項目各人の健康管理、第2項目なり手不足、第3項目見守り活動、第4項目主任児童委員の活動、第5項目単位民児協の定例会の進め方について今年もひきつづき精度を高めてまいります。

1月15日、林市蔵先生へ新年度、第3項目単位民児協の定期例会の進め方について今年もひきつづき精度を高めてまいります。

平成27年熊本市民児協でひきこもり、不登校、発達障害など民生委員・児童委員がい、教育の格差、ネット被り活動をめざしてまいります。少子高齢化の時代、行政、社協、自治協議会と連携して、一歩踏み込んだ見守り活動をめざしてまいります。

100周年スローガン「支え合う 住みよい社会 地域から」

今年1年間よろしくお願ひいたします。

1月15日、林市蔵先生へ新年度、第3項目単位民児協の定期例会の進め方について今年もひきつづき精度を高めてまいります。

平成27年熊本市民児協でひきこもり、不登校、発達障害など民生委員・児童委員がい、教育の格差、ネット被り活動をめざしてまいります。

100周年スローガン「支え合う 住みよい社会 地域から」

今年1年間よろしくお願ひいたします。

*林市蔵氏銅像および石碑「深則新」の修繕等についても計画されています。



民生委員の父 林市蔵の物語

熊本城行幸橋近くの清正公像そばに、民生委員の父と呼ばれる林市蔵翁の銅像があります。今年は、民生委員制度の前身である方面委員制度を林市蔵が創設して100年になります。この機会に林市蔵の生涯をたどり、その思いに触れたいと思います。

幕末に生まれた熊本藩士の子

林市蔵は、慶應3年（1867年）に熊本藩士の子供として生まれました。明治維新（1868年）の前年、廃藩置県（1871年）の4年前の事です。

そのうえ、市蔵が5歳の時、父がこの世を去りました。母は随分苦労をし、市蔵は母の苦労を目撃する事で育ちました。

また、明治9年（1876年）には秩禄处分と廢刀令により、収入と士族の特権がはく奪されました。多くの士族は困窮し、全国各地で不満士族による乱が起り、熊本でも神風連の乱が起っています。その流れは翌年の西南の役へと続きます。

帝大卒業し出世するも…

市蔵は極貧の中でも勉学に励み、叔父の援助で第五高等中学校へ進み、旧細川藩からの奨学金を得て帝国大学で学びました。卒業した後は拓殖務省（後に内務省と合併）に勤めることになりました。

しかし、まもなく母はこの世を去ります。市蔵はこの母に対してもできなかつたことを生涯悔いていたそうです。

内務省に勤務することになった市蔵は、明治41年（1908年）には三重県知事となり、大正6年（1917年）には山口県知事を経て大阪府知事となりました。

夕刊売りの母子の姿に

ある日の夕暮れ、大阪府知事となつた林市蔵は理髪店で散髪をしていました。鏡に映る

風景を見るともなしに見ていた彼の眼は、あらかじめ釘付けになりました。それは、貧しい身なりの女性が幼女を背負つて夕刊を売る姿でした。散髪を終えた市蔵は、その夕刊売りに近づき1部を買った後、その足で近くの交番に立ち寄り、この母子の家庭状況の調査を依頼しました。子どもたちは学用品も買えず、学校にも通つていないうちも知りました。

市蔵は、自分の幼い頃の貧しい生活と母の苦労を思い出しました。母子の姿が自分の幼少期の姿と重なりました。

そして、市蔵が今あるのは、貧困の中でも学問に励めたからだとも思いました。助けがあつたからこそ、今があるのです。この出来事は、市蔵が救貧制度の必要性を痛感する出来事でした。

市蔵は知事です。この母子のように助けが必要としている人たちを探して、手助けするための制度を作らなければならぬと思いました。

方面委員制度の創設

林市蔵はすぐ行動を起こし、大正7年（1918年）10月に大阪府に方面委員制度を創設しました。今からちょうど100年前の事です。

小学校区を担当地区として、その方面の住民の生活状況を調査し、その情報を元に救済を行おうとする制度です。当時としては非常に画期的なものでした。

「その方面」つまり地域の状況に詳しい人に地域の困窮者を探してもらうという制度が、現在の民生委員・児童委員制度における相談支援ボランティアとして位置づけ、

昭和13年には「民生委員令」が公布され、方面委員は民生委員と改称されました。戦時下に民生委員制度廃止論がおこった時も18項目にわたる英文の解説を書いて意義を強調しました。

その後の市蔵と民生委員制度

昭和21年には「児童福祉法」が公布され、民生委員は児童委員を兼任することになりました。

昭和23年（1948年）には「民生委員法」が制定されました。

市蔵の長女の夫は、終戦時にアメリカ戦艦ミズーリ号上で降伏文書に調印し、のちに外務大臣となつた重光葵ですが、重光は市蔵の事を「隣人愛、社会愛に燃えた偉大なる殉教者的な聖者」と評しているそうです。

市蔵は、晩年を大阪で過ごしましたが、昭和26年（1951年）の暮れ、老人と孫の心中があつた時、この件について民生委員の援助がどうであつたか聞きに出かけたそうです。年が明けて一月後の昭和27年（1952年）、市蔵は86歳で亡くなりました。

平成12年（2000年）の「民生委員法」の改正では、民生委員・児童委員を地域における相談支援ボランティアとして位置づけ、

今年は市蔵が生まれて151年、没して66年になります。そして、市蔵が方面委員制度を創設してからちょうど100年になります。今年は市蔵が生まれて151年、没して66年になります。そして、市蔵が方面委員制度を創設してからちょうど100年になります。熊本に生まれ、激動の時代を、弱者へ心を寄せ続けて生きた林市蔵の思いは、私達民生委員・児童委員の活動の中に生き続けてい

**平成29年度 熊本市民生委員
児童委員協議会会長会(総会)**

北区民児協会長 小山 登代子

**■平成30年3月5日
■ウェルパル熊本**

冒頭、野口会長は「我が家が近くでもようやく鶯の鳴き声が聞こえ、春近いようだ。活発な慎重審議をお願いしたい。」と挨拶。その後、力合・力合西校区の古屋会長が議長に選出され、議案第一号平成二十九年度一般会計補正予算(案)について、会計担当の小山副会長が提案説明。第二号議案、平成三十年度事業計画(案)については、野口会長が説明。更に議案三号四号の一般会計予算同互助会会計予算(案)について提案説明がなされ全会一致。拍手をもってすべての議案が承認された。

平成三十年度事業計画に対し、二十九年の総括に対する意見が提議されたことについては、会長より「少し時間でいただき文書で皆さんに回答したい。」と答弁があった。その後、五月十五日に予定されている一〇〇周年熊本県熊本市合同の大会開催要項が説明された。更に出費多端の中、例年抛出していた大いに盛り込まれた。最後に熊本市より平成三十年度高齢者名簿の提供がなされ、総会は無事終了した。

これからの一〇〇年に向かって私たち民生委員・児童委員はどうあるべきなのでしょうか。繋ぎ役に徹することが大切な役割との共通認識をしっかりと持ち、支援を必要としている人に寄り添つていきましょう。

北区民児協には、一五単位民協があり、一年前の一斉改選後、新たに加わった仲間を含め、二五一一名で活動しています。改選時には、担い手を確保することが難しい状況を痛感します。福祉課題が複雑・多様化しており、これに対する負担感や、特殊な地域事情等から、短期或いは一期での退任者が増加しているのが現状です。様々な知識や日常の信頼関係を築いたばかりでの退任は残念です。

出来るだけ長く続けられるように、「新任者を育てよう」という目標を掲げました。区を四ブロックに分け、新任民生委員・児童委員の声を聴こうと、単位民児協会長同士、連携をとりながら研修等を進めているところです。

もう一つの取り組みが、「子育て支援ネットワーク」の活動です。北保健福祉センターが開設されたときから、子供と子育て家庭の支援を推進していくことの共通認識のもと、現在も引き継がれています。一月二十四日に北区子育てネットワーク全体会を開催。各校区毎の課題をもとに、「日当て」を設定し、どのように展開したのかという報告会です。校区毎の活動実践事例から学び合えることは大きく、新たな活動の契機となり、その後のグループワークの意見交換は、大いに盛り上りました。新年度に向かって、これまでの活動をさらに発展させ、子育てがしやすい地域づくりの担い手になってくれるものと心強く感じました。

『民生委員・児童委員をやつてよかつた』という声が広がることを願っています。

主任児童委員部会からの報告

■平成30年2月20日(火) ■ウェルパルくまもと

午前10:00~12:00 主催=主任児童委員部会

演題「今を生きる子どもたちへ伝えたい」
~大人として 地域として 人生の先輩として~
講師 熊丸みつこ先生

熊丸先生は子育てアドバイザー、家庭教育アドバイザー、幼児教育・家庭教育専門家として全国を舞台に講演されている先生です。

すべての子どもは幸せになるために生まれ、特に子ども時代は手塩にかけて育てることが大切であり、それはその子にとって、将来自分も他者も大切にし、人を信頼して生きることのできる基礎を築くことができるという、大変興味深い講演でした。実際に先生が関わられた事例を楽しく、リズミカルにお話しいただき、会場は笑ったり、ホロリと涙したりとても内容の濃い研修となりました。「笑顔を子どもたちに向け、地域の大人として子どもの成長を育みながら活動していきましょう!!」と前向きな呼びかけでの締めくくりとなりました。



午後1:30~3:55 主催=熊本市

市民児協野口会長と、市健康福祉局子ども未来部島村富子部長の挨拶から始まりました。

[研修①] 「サポートは「聴く」ことから始まる」
プレイス波 波口恵美子代表

子どもの課題を理解するということで、不登校や性暴力について現状を話された後、その支えとなるべき時の「傾聴」のテクニックなど実戦を交えながら教えていただきました。



[研修②] 「支援が必要な子どもや家庭への支援」
熊本市子ども支援課 橋本倫子主査

熊本市での支援の現状や実態をグラフなどでわかりやすく説明を受けました。

1日研修という長い時間ではありましたが、今後の活動に力をいたしました。

平成29年度 熊本市民児協被表彰者

〈叙勲・褒章〉

◎春の藍綬褒章

・南北区(川尻校区) 玉眞てるみ

〈社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰〉

・中央区(城東校区) 岡本恭典

・南北区(城南校区) 尺一賢昌

・北区(清水校区) 村上敏文

〈全国社会福祉協議会会長表彰〉

◎民生委員・児童委員功労表彰

・中央区(城東校区) 岡本恭典

・南北区(城南校区) 尺一賢昌

〈全国民生委員児童委員連合会会長表彰〉

◎優良民生委員児童委員協議会表彰

・中央区黒髪校区民生委員児童委員協議会

◎永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰

・中央区碁台校区民生委員児童委員協議会

会長 林千佳子

◎永年勤続民生委員・児童委員表彰(194名)

◎永年勤続退任民生委員・児童委員表彰

・中央区(帯山西校区) 岩下敦子

・西区(古町校区) 小柳久仁子
赤星ミサ子

〈九州社会福祉協議会連合会会长表彰〉

(5名)

〈熊本県社会福祉功労者表彰(熊本県知事表彰)〉

(3名)

〈熊本市有功者表彰〉

(57名)

平成30年熊本市民生委員児童委員協議会新年互礼会

1月15日午後6時からホテルキャッスルで、熊本市民生委員児童委員協議会の新年互礼会が開かれました。

ご来賓に市の福祉行政の担当者や市社会福祉協議会の担当者を迎えて、大西市長と潮谷市社会福祉協議会会长のご挨拶を頂きました。参加者である単位民児協の会長と副会長、主任児童委員部会の役員は親睦を深め、それぞれの単位民児協の状況などの情報交換を行い、福祉への貢献に思いを巡らせました。

平成29年度熊本市民生委員・児童委員全体研修会

■平成30年1月30日 市民会館シアーズホーム夢ホール

植松副市長による大西市長挨拶の代読、野口会長の挨拶に続き、伊津野副会长による民生委員・児童委員信条唱和により研修は始まりました。

研修① 講演「地域社会との関わりのなかで」

講師II前熊本県知事 潮谷義子氏



民生委員制度の歴史の話から始まり、少子高齢化社会の問題点などに続き、先ごろ話題になつたリンダ・グラットンの著書から「人生100年時代」の生き方についてまで内容は多岐にわたりました。寿命が延びた人生で重要な事は「仲間がある・役目がある・生きる哲学がある」の3つであるとの言葉が印象に残りました。

研修② 小中学校の現状について

講師II市総合支援課 勝田広幸氏

全国と熊本市のいじめの現状。いじめの定義と防止の対策。問題解決のための連携の大切さについて、分かり易く簡潔に話していただきました。

研修③ ヘルプカードについて

講師II市障がい保健福祉課 中川みどり氏

ヘルプカードとは、外見で分からぬ障がいのある人が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのカード。カードは市や区の福祉課・支所等に設置されているほか、市ホームページからも印刷ができます。10名以上の参加者があれば、出前講座をするそうです。

(広報委員 西田)

個人情報の管理は慎重に!!

民生委員法には守秘義務が規定されています。
保有する情報には十分気を付けましょう!!

平成30年度熊本市民児協前期行事予定

4月 委嘱状伝達式
会計監査

主任児童委員部会全体会・第1回研修会
民生委員制度創設100周年記念大会

5月 会長会(総会)
会長視察研修

編集後記

周年を迎える記事を中心として作成しました。これまでの歴史を振り返り、先人のご苦労に報いるためにも、記念大会の出発に当たり、民生委員・児童委員として誇りを持つて活動したいものです。

記事全般について、ご意見を聞かせてください。また、次号で掲載してほしい要望等があれば最寄りの広報委員までお知らせ願います。